



RETURNEE PROGRAM
帰国生コースプログラム

2010 GUIDEBOOK

栄東中学・高等学校

SAKAE HIGASHI J.H.S.

【開講のご挨拶】



マイケル リンゲン
Michael Ringen

“ With the world becoming a smaller and smaller place, the need for Japanese who can contribute globally is becoming greater and greater. Therefore, our team has created an immersion program that stresses liberal arts and a bilingual education. Our six-year program encourages not only the educational growth of our students but also the development of the students as true global citizens. It is our mission to encourage our students to become positive contributors to the international society. Through our curriculum, our students get the education necessary to be successful at the best universities in Japan and abroad.”

グローバル化が進む今、日本においても世界に貢献できる人材の必要性は、ますます高まっています。そこで、世界を舞台に活躍する人材の育成を目指し、リベラルアーツとバイリンガル教育を重視したイマージョンプログラムを創りました。6年間のプログラムを通して、学力の向上のみにとどまらず、真の国際人として帰国生を育てていきます。私たちの使命は、国際社会に貢献できる人材を育成することです。今後6年間のカリキュラム修了時には、国内の難関大学はもちろん、海外のエリート大学へも進学できるように準備、訓練させます。

リベラルアーツ： 社会のリーダーに求められる知的資質として必要な教養

イマージョン： 英語による教科指導を通して、生きた英語の習得を目指す教育方式

教師は優秀なネイティブのみ

プログラムの講師は学歴、適性、個性、経験を基に慎重に選抜されたネイティブ教員ばかりです。講師の出身大学はUCLA、コロンビア大学教育学部などトップランクです。



マイケル リンゲン
Profile < Michael Ringen >

栄東中学・高等学校の国際部のカリキュラム開発責任者。

コロンビア大学ティチャーズカレッジにて英語教授法を学び、修士号を取得。日本で15年間教鞭を執る。カリキュラムの編成や教員の養成、有名塾に提供する教材の開発も手掛ける。下記に関連記事。

■ 進学塾

ハーバード版ドラゴン桜?

世界の超一流大目指すエリート進学塾

米ハーバード大など世界の超一流大学を目指す高校生を対象とした進学塾「Route E」が5月、東京に開講した。海外進学に特化した塾は珍しい。どんな授業を行っているのかのぞいてみた。

「What are the problems Japan is facing now? (日本が今直面している問題は何か?)」

「One of the problems is a rising criminal rate among young people …… (問題は一つは、若者の犯罪率が上昇していることです)」

講師は笑顔で冗談を交えながらも矢張り早の質問を浴びせていく。私立有名進学校に通う3年女子生徒と2年男子生徒がよしまなく答えると、講師はさらに「具体例を挙げて説明しろ」「contribute(提案する、寄与する)とかかencourage(励ます、奨励する)といったポジティブな単語を使って自分の積極姿勢を表現して」と注文をつけて返答を促した。

東京・神保町のビルの一室で行われた英語の授業は2時間30分の予定を35分オーバーし、午後9時50分に終了した。熱気にあふれ、途中休憩はなかった。

講師は「米国のトップ級大学では入学選考時も実際の授業でも、深い思考力や感性、意見を持つ学生が求められる。こうした双方向型授業への準備は不可欠だ」と授業方針を説明する。授業を終えた2人は「メチャク



この日3時間5分に及んだ英語の授業。内容はハードだが、講師は頻りにジョークを飛ばし、終始リラックスした雰囲気だった

平均4.5以上、大学進学適性試験SATと英語能力試験TOEFLの得点がいずれも90%程度が必要だ。ボランティア・課外活動、リーダーシップなどの人間性も重視される。

こうした現状を踏まえ、Route Eでは、英語力養成を含むテスト、面接、エッセイ対策のほか、願書や志望理由書の作成指導、テレビ会議などを通じたハーバード大の現役学生との交流授業も行う。

定員は15人で週2回で年間240時間の授業。月3回の個人指導も含め年間授業料は150万〜300万円といひ、塾名は「ハーバードへの道」を意味する。

日本の大学教育に「二石

塾を運営するのは、通信教育最大手「ベネッセコーポレーション」。同社が難関大志望者向けに実施した模擬試験で、海外の有名大学を第一志

望に挙げた受験者が高1で6%、高2で4%いたといひ、1年半前から塾の構想を練っていたといひ。

同社の藤井雅徳・初等中等教育課長は「日本の将来を背負う人材に外国のトップ大学という選択肢を示した。東大を頂点とする日本の大学教育のあり方に一石を投じた」と狙いを説明する。

開塾にあたっては、最初の選抜試験で15人が受験したが、合格者は先の2人だけ。この2人は「東大にも十分合格する実力」といひ。

前出の男子生徒は「医師か国際弁護士を志望していますが、日本の大学では学部を選んだ時点で将来が限定されそうです。18歳で人生の重大な決断は下せません。ハーバード大なら、自分の適性や関心を幅広く見詰め直してから進路を決められると思うのです」と話す。

「東大よりハーバードに行こう!」の著者で、塾の運営にも携わる森田正康氏は、「何か一つに秀でた才能を持つ人や、バランスを重視する日本型教育に飽き足らない人は、学生の個性や特長を伸ばすことに主軸を置く米国の大学に向いている」と話す。

これまでも海外の難関大学を目指し個人で準備する生徒はいだが、進学ノウハウを持つ高校は非常に少ない。こういう選択肢にも教育大手が手を伸ばす時代になっている。 YW (本誌 大屋敷英樹/撮影 吉川 賢)

国際部 帰国生プログラム



国際部の英語の授業は、一般生徒の英語の授業とは別の教室で、取り出し授業として行われます。優秀なネイティブ講師が少人数クラスを指導し、授業は週7時間の必修レギュラープログラムと週4時間の特定科目選択のアフタースクールプログラムが用意されています。

レギュラープログラム

読み、書き、文法、会話 (Reading, Writing, Grammar, Conversation) の強化で、基礎力をさらに高めます。正規の授業時間内に実施され、必修の単位として履修します。取り出し授業によるイマージョン教育を行うことで、英語力保持だけでなく、変動する国際社会の中で積極的に時代に対応できる個性豊かな人間の育成に努めています。帰国生が日本の教育環境に適応を図りながら海外で得た貴重な体験や知識を活かし、特性を発揮、伸長できる教育を目指します。

アフタースクールプログラム

レギュラープログラムとあわせて受講することで、論理的思考による英語能力を包括的に向上、発展させます。日本の難関大学はもちろん、海外のトップレベルの大学に入学できる学力を身につかせます。海外での勉学を選ぶ場合を考慮して、受験のために必要となる数学、科学、社会、歴史、コンピューター・ITを学習するためのプログラムです。TOEFL IBTとSATでトップレベルのスコアを取得することを目指します。ハーバード大学への進学を目指す生徒はSAT IIの準備対策も必要です。

●英語能力評価試験

TOEFL IBT: Test of English as a Foreign Language Internet-Based Testingリーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの4セクションから構成される。各30点で120点満点、100点取得は一流大学、または大学院レベルに相当する。

●大学進学適性試験 SAT: Scholastic Assessment Test

SAT: Reasoning Test (論理思考テスト) : Critical Reading (語彙力と文の構造の理解)、Writing (英文法の知識や文章構成力、エッセイを書く技量)

Math (数学) 各800点満点、合計2400点で評価される。

SAT II: Subject tests (科目別テスト) : 英語、歴史・社会学、数学、自然科学、語学の5分野・20科目の中から、一回の試験で最高3つまでを受講できる。各テストはSAT: Reasoning Test同様の各800点満点で評価される。

RETURNEE PROGRAM

6年間のカリキュラム

Core 基礎学力の定着		Discovery 可能性の発見		Independence 英知の育成		
1st Year 中1	2nd Year 中2	3rd Year 中3	4th Year 高1	5th Year 高2	6th Year 高3	
REGULAR PROGRAM	English Essentials (文法・単語)	English Essentials (文法・単語)	English Literature (英文学)	English Literature (英文学)	English Reading (英文読解) 日本語で理解	English Reading (英文読解) 日本語で理解
	English Encounters (リーディング基礎)	English Encounters (リーディング基礎)	TOEFL® IBT Test Preparation (TOEFL®テスト 対策) Input skills: Reading/Listening Output skills: Speaking /Writing Target score:65	TOEFL® IBT Test Preparation (TOEFL®テスト 対策) Input skills: Reading/Listening Output skills: Speaking /Writing Target score:75	Advanced Reading (リーディング応用)	Advanced Reading (リーディング応用)
	English Expressions (英語表現)	English Expressions (英語表現)			TOEFL® IBT Test Preparation (TOEFL®テスト 対策) Input skills: Reading/Listening Output skills: Speaking /Writing Target score:90	TOEFL® IBT Test Preparation (TOEFL®テスト 対策) Input skills: Reading/Listening Output skills: Speaking /Writing Target score:100
	Oral Communication (英会話)	Oral Communication (英会話)	Oral Communication (英会話)	Oral Communication (英会話)		
After-school program	Math 1 (数学1)	Math 2 (数学2) Algebra 代数	Math 3 (数学3) Geometry/Trig (幾何学・三角柱)	Math 4 (数学4) SAT®対策	Math 5 (数学5) SAT® II 対策	Math 6 (数学6) SAT® II 対策
	Science 1 (科学1)	Science 2 (科学2)	Life Science (生命科学)	Biology (生物学)	Chemistry (化学)	Physics (物理学)
	IT/Computer 1 (IT/コンピューター 1)	IT/Computer 2 (IT/コンピューター 2)	Digital Contents 1 (デジタルコンテ ンツ1)	Digital Contents 2 (デジタルコンテ ンツ2)	Independent studies 1 (自己研究1)	Independent studies 2 (自己研究2)
	Social Studies 1 (社会学1)	Social Studies 2 (社会学2)	World History (世界史)	Asian Culture & History (アジア文化と 歴史)	Civics (公民)	Current events (時事問題)
Essay/ Speech Contest				University Preparation		
Special Project						
Volunteer Project						
SAT®・SAT®II受験対策						

After-school Program (アフタースクールプログラム) 2009年6月現在

木曜	放課後	16:00-17:00	数学	17:10-18:10	IT/Computer
土曜	午後	13:30-14:30	科学	14:40-15:40	社会科

中高6年一貫教育について

Q. 6年間の成果として何が期待できますか？

A. 3つの目標を掲げています。

- ① バイリンガルの生徒を国内の難関大学または海外のエリート大学に進学させる準備を行うこと。

これは、入学試験の準備をさせるだけではなく、入学後の学習成果につながる技能を養成するものです。

- ② 国際感覚を持つ人材を育てるため、第二言語の習得とインターナショナリズム（国際性）を視野に入れた指導を行います。教科書にとどまることなく、学習に必要な文化的背景を認識させながら、国際舞台で影響力のある人物に育てます。

- ③ 国内外において社会的に貢献できるよう奨励していきます。学生の中に、ボランティア活動を行う機会も与えながら、卒業後も、国内外の分野で、社会福祉に積極的に係わることを望んでいます。



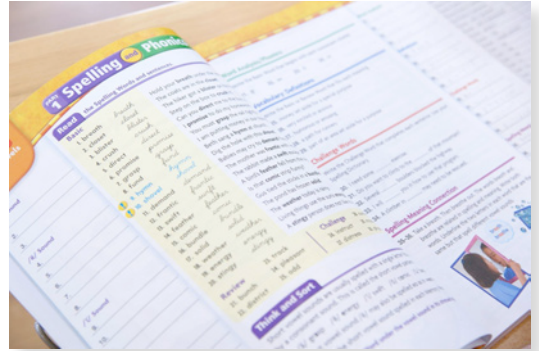
レギュラープログラムについて

Q. 国際部は現在、何クラスありますか？

A. 各学年1クラス編成です。2008年度から帰国生募集を開始しましたので、現在は中学1年、2年の2学年のみの設置です。入学基準を下げることなく、少人数授業で、きめ細かく指導しますので、各学年10名以下の編成となっています。

Q. どんなテキストブックが使われていますか？

A. このプログラムのテキストはすべて世界中の小学校、中学校で使用されている教材から慎重にセレクトされたものです。最高度の教育水準が可能となるよう保証するために200件を超える教材が調査・検討されました。現在私たちが使用している英語教材はアメリカ、カナダ、イギリスの学校で使用されているものです。



アフタースクールプログラムについて

Q. 途中からの受講は可能ですか？

A. いつでも可能ですが、後れをとらないためにも、年度の最初からの受講をお勧めします。

Q. 授業を欠席した場合はどうなりますか？

A. 必修ではありませんので、連絡があればお休みしても問題ありません。しかし、授業は段階的に難度を上げていきます。何時間もお休みすることは後れにつながりますから、望ましくありません。

Q. 後れをとった場合どうなりますか？

A. 「特別プロジェクト」期間を設け、この期間に、生徒は全般的英語スキルの改善を目的とした英語プロジェクトに取り組みます。後れた生徒は講師から個別にサポートを受ける機会となります。また、週1回夕方5時から7時に自習室として国際部の教室を利用できますので、そこで授業時間内に解決できなかった疑問点を個別で解決することができます。

Q. 部活動と両立できますか？

A. 部活の活動日によりますが、最も活動日の少ない木曜日と土曜日の放課後に設けました。部活動との両立は可能です。

Q. 生徒は評価を受けて単位を取得できますか？

A. レギュラープログラムと同様に評価を受けます。ただこのクラスは必修科目ではありませんので単位の認定はありません。

Q. 宿題やテストは多いですか？

A. 授業についていくためには、一定量の宿題は必要です。ただ、レギュラープログラムと比べると宿題量は少なめです。

Q. 外部の生徒でも英語力があれば参加できますか？

A. 帰国生にかかわらず、英語の一定基準の能力があると判断されれば参加出来ます。

Q. 公開クラスは予定されていますか？

A. ご希望があれば、いつでもご見学いただけます。ご予約をお願いします。



入試について

Q. 入試日程について教えてください。

A. 一般入試のA・B日程と同じ日程です。

Q. 入試科目について教えてください。

A. 2科、3科、4科から選択、受験生面接を実施します。

2科：算数・国語 3科：算数・国語・英語 4科：算数・国語・理科・社会

Q. 英語の問題レベルはどの程度でしょうか。

A. アメリカの小学5～6年生程度の内容です。テーマを設定した自由英作文が課されます。本校のホームページの予想問題を参考にしてください。 (<http://www.sakaehigashi.ed.jp/>)

Q. 面接はどのような形式で行われますか？

A. 受験生のみ英語で実施いたします。（面接官2名と受験生1名）10～15分程度で、質問内容は、志望理由、海外での経験で得たもの、将来の夢などについてです。また、指定された英文の音読や、写真の内容説明なども課されます。主にコミュニケーション能力と学習意欲について評価します。

Q. 一般入試に合格して帰国生プログラムを希望できますか？

A. ネイティブ講師が面接を行い、英語の授業に出席できると認定された場合に限りです。

国際部の活動について

Q. 6年間に特別な活動、企画はありますか？

A. 国際交流や、ボランティア活動、スピーチ・エッセイコンテストへの参加を予定しています。

Q. 日本の有名大学の入試に対してのサポートはありますか？

A. 模擬試験を定期的に行い、各生徒の得点また試験対策の傾向を精査しながら、受験に求められるスキルに対応できるようサポートしていきます。



Round-Table Talk

栄東中学の国際部へ入って一年後の印象はどうか？

生徒：私は以前、アメリカで3年半過ごしたのですが、ネイティブの先生と英語力を維持しながら、日本の教育・文化に触れることができ満足しています。

苦労して培った英語力ですものね。忘れることなく、生涯を通じ伸ばしていきたい強い意志の表れですね。

生徒：レギュラープログラムとアフタースクールプログラムがあるから、より長い時間、英語に触れられます。日本で暮らす以上、英会話学校へ行かない限り、ネイティブの先生と会話するなんて機会はないですから。

アフタースクールプログラムに入ると、コンピューターや数学を英語で学びますが負担に感じたことはないですか？

生徒：面白いです。コンピューターは創造力をかきたてて、将来役立ちそうです。

生徒：数学を必須科目に加えて、英語でもやることで応用力が身につきます。

10代の若い時期から、新しいことに触れることは好奇心ゆえに楽しいことでしょう。ネイティブの先生たちから受ける指導はどうか。

生徒：親しみやすく、日本人の先生にはないユーモアがあります。マイケル先生は授業中は厳しいけど、火曜の夕方の自習室では優しいです。

自習室は先生との良いコミュニケーションの機会になっていますね。

生徒：自習室では、授業中に理解できなかったことも質問できるから助かります。

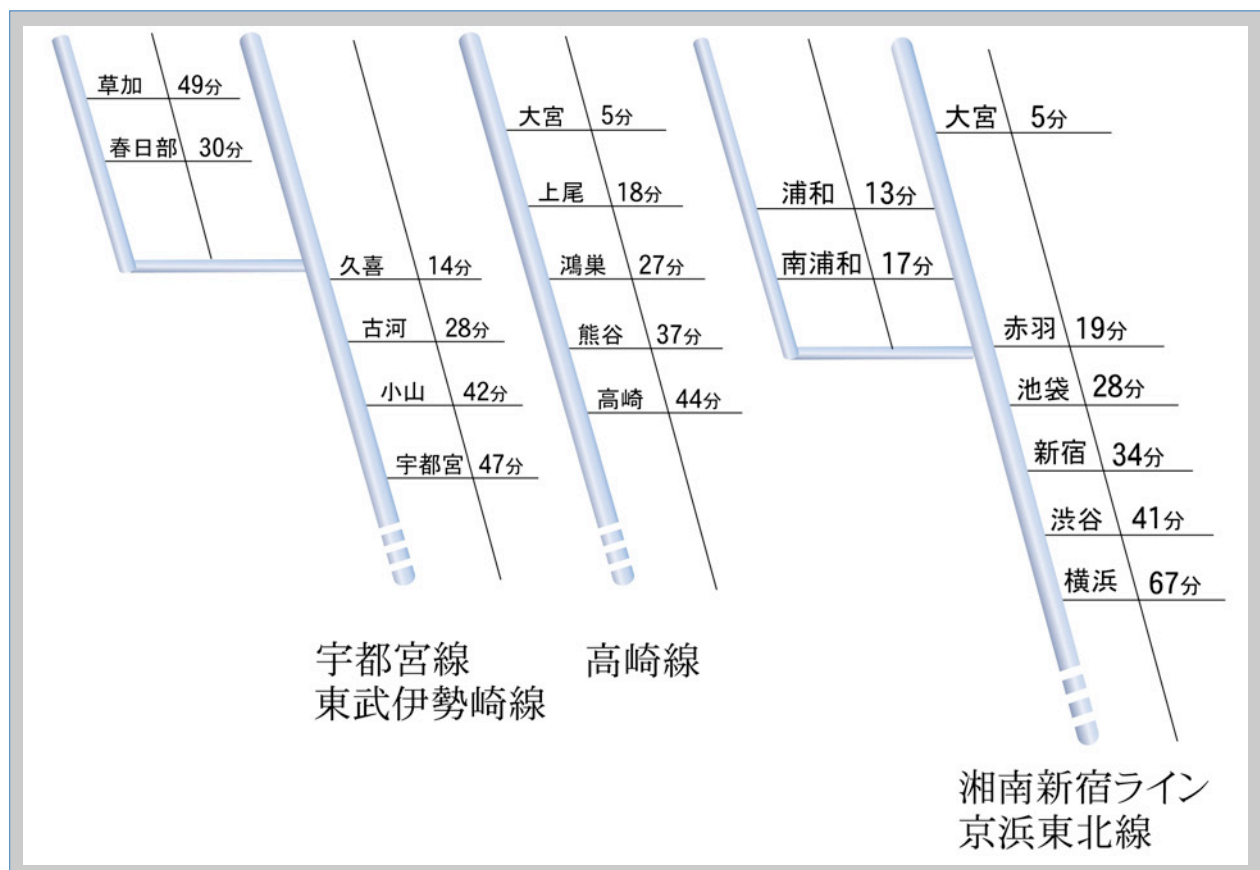
やる気に満ち溢れた栄東の生徒だからこそ出来るカリキュラムだと実感します。生徒たちの未知の可能性を引き出してくれます。

Voice from parent

(中学2年生の保護者の感想)

海外で5年間を過ごしたので、日本の学力のレベルについていけるか心配でした。しかし、栄東では、個別に対応して下さるとのことで、フォローアップが万全ですので安心しました。また国際部のおかげで、英語力の維持、向上を図ることができます。英語に関しては、塾や英会話学校に入れる必要もなく、学校で質の高い教育を受けることが出来ます。娘は、将来、日本の大学、あるいは海外の大学、いずれに進学するか決めかねていますので、両方の選択と未知の可能性を考えることが出来る、栄東のカリキュラムが最適だと考えました。

東大宮までの所要時間 (乗り換え含む)



栄東の“メルマガ”スタート！

入試広報センターから入試問題や募集要項のお知らせ、また部活動や行事など学校のホットな話題をメールで直接お届けします。

